

地域支援だより

山梨県立ふじざくら支援学校
地域支援部通信 第5号
令和6年3月吉日発行
文責：石井めぐみ・山中まな美

寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる頃となりました。今年度も残りわずかとなり、1年間のまとめの時期となりました。保護者の皆様には、今年度も本校の教育活動に御協力をいただきありがとうございました。1年を通して、どの学部においても子ども達の成長をたくさん確認することができました。保護者の皆様の日々の丁寧な関わりに加え、先生方や関係機関との連携が確実に子ども達の手助けとなっていることが感じられました。また、外部専門家の先生方の活用も一助になったのではないのでしょうか。今後も、保護者の皆様と共に、子ども達一人一人にとって、必要かつ適切な支援を一緒に考えさせていただきたいと思えます。

今回の地域支援だよりでは、今年度の地域支援活動(センター的機能)の実績をお伝えさせていただきます。

●●● 令和5年度 ふじざくら支援学校 地域支援活動について (1月末集計) ●●●

☆校内における支援活動について

外部専門家の活用



	来校	小学部	中学部	高等部	地域校等	研修会講師等
心理士 (配置)	32日	15人	7人	17人	5人	3回
理学療法士 PT (配置)	9日	10人	7人	2人	3人	1回
作業療法士 OT (派遣)	4日	5人	2人	1人	2人	0回
言語聴覚士 ST (派遣)	3日	2人	2人	0人	1人	0回

本校には心理士と理学療法士 (PT) が配置されており、全学部、I・IIコース共に活用していただきました。心理士の先生には、児童生徒の行動や心理面の理解、指導法のアドバイスをいただきました。希望により、本人面談や保護者面談も実施しました。PTの先生には、イス座位や歩行介助等に対する支援方法についてアドバイスをいただきました。また側弯予防についてや卒業後を見据えて自身でできる運動についてもアドバイスをいただきました。

作業療法士 (OT) と言語聴覚士 (ST) については、他の支援学校より派遣していただきました。OTの先生には、食事面での姿勢や食具の使用について、手指の巧緻性の向上についてアドバイスをいただきました。STの先生には、発声練習や口唇練習について、声量の大きさ等についてアドバイスをいただきました。

関係者会議等の調整



モニタリング等、必要な際に関係機関との連絡調整を29件行いました。状況によっては地域支援部員も会議に参加し、情報の共有をさせていただきました。

来校相談・授業体験・電話相談



	未就学児	小学生	中学生	高校生	その他	合計
来校相談	9件	2件	7件	0件	2件	20件
授業体験	8件	5件	6件	0件	0件	19件
電話相談	48件					

本校への就学や進学を検討している等の幼児児童生徒本人・保護者が来校しての相談や、授業体験を行いました。電話相談については、市町村教育委員会、幼稚園・保育所や小中学校の先生方、地域の保護者等から、特別支援教育に関する様々な相談をいただきました。福祉関係者からは、児童生徒への有効な関わり方等についての相談やモニタリング会議前後での情報共有がありました。

☆校外に出向いて行う主な支援活動について



訪問支援

幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	合計
12回	27回	5回	3回	47回

地域の園や学校からの要請を受け、訪問させていただきました。訪問した園及び学校数は、小学校>幼稚園・保育所>中学校>高等学校となっています。小学校からの依頼が約6割を占めており、6市町村の7割以上の小学校、半数の中学校からの要請をいただきました。

研修支援

市町村連携会議	南特研	富士吉田市教育協議会	河口湖畔教育協議会	校内学習会(小学校)	その他	合計
5回	2回	2回	3回	3回	7回	22回

市町村連携協議会、地区教育協議会での講義や指導助言の他、連携機関主催の研修会での助言依頼をいただきました。また、夏季休業中に特別支援教育に関する校内研修会の講師依頼もいただきました。



本年度の実績や反省をもとに、来年度の地域支援活動もより充実したものにできるよう、取り組んでいきたいと思っております。専門家の活用や地域との連携を含め、心配なことや悩み等ありましたら、担任を通してお気軽にご相談ください。

山梨県立ふじざくら支援学校

地域支援部 担当：石井めぐみ 宮下祥子 市川遥奈 山中まな美 内藤紘子

